

Platon レポート作成ツールリリースノート

※Platon ver1.9.0以降に対応

本製品に対する修正ファイルは、以下のURLで配布しています。
<http://learning.logosware.com/archives/8177>

バージョン : **1.0.2.1**

リリース日 : 2020年1月22日

不具合修正

1. 集計対象の解答結果 (SCORM cmi.score.raw) の得点で小数点のデータが存在した場合、集計処理時にエラーが発生し、レポート出力が行えない不具合を修正

バージョン : **1.0.2**

リリース日 : 2019年12月13日

機能追加

1. Platon上で回答されたTHiNQ Xeコンテンツの回答結果が集計できるように機能追加
2. Platonとの接続設定で個別のプロキシを設定できるように機能追加

不具合修正

1. 個人別詳細で対象者が0人の場合にエラーが発生し、集計処理がエラーとして中断されてしまう不具合を修正

バージョン： **1.0.1.6**

リリース日： 2019年2月26日

不具合修正

1. レポート出力時に「指定されたキーはディレクトリ内に存在しませんでした」、「インデックスが配列の境界外です」とエラーが表示され、レポートが出力されない不具合を修正

なお、これらのエラーは、次の場合に発生していました。

- Platon上のTHiNQコンテンツを差し替え、差し替え前後でコンテンツで大きな変化（設問数の増減）がある場合に発生
- THiNQコンテンツ側の各設問内の問題IDが順不同（順番にID1、2、3ではない、又は、歯抜け）の場合に発生

バージョン： **1.0.1.5**

リリース日： 2018年11月9日

機能追加

1. 個人別詳細で受講者毎に改ページできるようになりました。

バージョン： 1.0.1.4

リリース日： 2018年9月12日

不具合修正

1. Platonサーバのhttps暗号化のバージョンが新しい場合に接続できない事がある不具合を修正
 2. レポート作成ボタンが連打できてしまう不具合を修正
-

バージョン： 1.0.1.2

リリース日： 2017年5月1日

不具合修正

1. THiNQ教材自体にデータ不整合が発生していた時、該当するテスト/アンケート結果レポートが出力出来ない不具合を修正
 2. THiNQ教材で「無回答」があった場合に、その人数が含まれない誤った集計結果が出力される不具合を修正
-

バージョン： 1.0.1.1

リリース日： 2017年2月27日 ※Platon対応バージョン：ver1.9.1.1

不具合修正

1. レポート作成ツール1.0.1.0で発見された軽微な不具合の修正
-

バージョン： 1.0.1

リリース日： 2016年12月22日 ※Platon対応バージョン：ver1.9.1

不具合修正

1. 特定のPlaton内のデータの状態でレポート作成ツールが異常終了する不具合を修正

バージョン： **1.0.0**

リリース日： 2016年8月12日 ※Platon対応バージョン：ver1.9.0

新規リリース